

【出エジプト記 21 章】

TLCCC FRH

「～6年間仕え、7年目には自由の身として無償で去ることが出来る～」(2節)

私たちはもともと罪の下に生まれてきて、罪の奴隷でした。神様が「これだけはしてはいけない。」と言われることをしてしまう人間。「しなさい。」ということをしなさい。そしてその為に苦しむ民に与えられた救い主を信じ受け入れない！というのが罪です。イエス・キリストはそのすべての罪咎呪いをご自分の身に受けて、血を流され、十字架にかかることで、贖いの小羊となりました。この無償の愛によって、私たちは罪が赦され、自由な身とされました。

21章～23章は生活上の具体的な律法が記されています。イスラエルの奴隷に対する扱いは、奴隷を撃って死なせた場合は主人が罰せられ、「目には目。歯には歯。～」などは無制限に報復してはならないというなど奴隷に対しての神の愛のご配慮が感じられます。(20、24節等) 新約の時代はイエス・キリストによって更に全き赦しと憐みが表わされています。「あなたの右の頬を打つような者には、左の頬も向けなさい。」(マタイ 5:39) 私たちも、かつては罪の奴隷であったことを忘れてはなりません。それは今も罪の中にあって苦しんでいる人々への哀れみを忘れないためです。クリスチャンはイエス様によって罪ゆるされ、「義人とされた罪人」です。それを思うと他者を非難したりさげすんだりさばいてしまうのではなく、あわれみの心を持って伝道できるでしょう。

今日はエルサレムの平和を祈る集いがカリスマ聖会で行われます。10月の第1日曜日を「エルサレムのために祈る日」とする運動は、2002年、ジャック・ヘイフォード牧師(米国カルフォルニア州、オン・ザ・ウエイ教会)らが中心となってスタートし、世界に広がっています。

エルサレムの平和の為に祈れ。

おまえを愛する人々が栄えるように。

おまえの城壁のうちには、平和があるように。

おまえの宮殿のうちには、繁栄があるように。(詩篇 122:6、7)

天に登録されている長子たちの教会

Church of the **F**irstborn who are **R**egistered in **H**eaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重



Siloam

2015年10月4日 No.861

(シロアム:遣わされた者 ヨハネ9:7)

今年のみ言葉 **あなたとともにいるこの民はみな、主のわざを見るであろう。わたしがあなたとともに行うことは、恐るべきものである。**

(出エジプト 34:10)



主の十字架クリスチャンセンター The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>